



第5回 市民懇談会を 開催しました！

第5回目となる今回は「産業振興、観光について考える」をテーマに、22名の市民の皆さんと4名の市役所若手職員で話し合いました。

最初に産業振興、観光について情報提供をした後、市の施策について旗揚げアンケートでお答えいただきました(p2)。その後、『将来の越谷市が…だったらいいネ！』という思いをカードに書き、グループごとに自己紹介していただきました(P3~5)。そしてこの分野に関連した越谷の問題点を洗い出し、それを解決するような『5つの夢プロジェクト』をまとめていただきました。最後に全体の場でグループのプロジェクトを発表していただき(p6~11)、感想カードを書き(p12~14)、第5回目のワークショップを終了しました。

分野別の検討も4回目となり、グループの話し合いのまとめや発表も要領を得た、説得力のある内容となっています。残すところ「教育、生涯学習について考える」の1回です。回を重ねる毎に参加者の方同士のネットワークも形成されつつあるように感じています。このつながりを活かして、新しい計画に命を吹き込んでいくようなことができると良いと思います。



[市民懇談会 開催スケジュール]

- 1 7月13日(土) 13:30~16:00
「10年後に実現したい越谷の夢を考える」
- 2 8月4日(日) 13:30~16:00
「福祉、健康、子育てについて考える」
- 3 8月17日(土) 13:30~16:00
「都市計画、住宅環境、交通、公園について考える」
- 4 8月31日(土) 13:30~16:00
「環境、防災について考える」
- 5 9月14日(土) 13:30~16:00
「産業振興、観光について考える」
- 6 9月28日(土) 13:30~16:00
「教育、生涯学習について考える」
- 7 10月12日(土) 13:30~16:00
「参加と協働による取組みについて考える」

<第5回プログラム>

- ステップ1：はじめに
- ステップ2：[旗揚げアンケート]
- ステップ3：自己紹介
『…だったらいいネ！』
- ステップ4：10年後の越谷
『5つの夢プロジェクト』
- ステップ5：プロジェクトの発表
- ステップ6：まとめ



『旗揚げアンケート』

越谷市の『産業振興、観光』分野の施策全般について
旗揚げアンケートでお聞きしました。

【設問】 あなたは、越谷市の『産業振興、観光』分野の施策について満足していますか？一つを選んで番号札を上げて下さい。

① 概ね満足している。市はよくやっていると思う。	1
② 越谷市の「産業振興、観光」分野の施策は、他市と比較しても誇れる点がある。	2
③ いくつかの点で気になることがある。市民の声をよく聞いて欲しい。	15
④ 具体的な内容についてよく知らない。	8
⑤ その他	1

1

を選んで

参加者-1：この懇談会だけで終わってしまったら、今まで通りの越谷のまま。継続的にテーマごとのチームをつくることを提案し、実行していきたい。10年後の計画なので、もっと若い人が来ないとダメだと思う。若い人に参加してもらえる場を是非、提案したい。越谷にはレイクタウンはできたが山も海もない、何もない中で観光課の人が頑張っていると思うので①を挙げた。レイクタウンに5,000万人、観光客が来ているが、外国人は10人に1人も来ない。理由は来る必要がないから。今あるものも大事だが、みんなで10~15年かけてどこにもないものをつくり、子どもや孫にその恩恵を受けさせることが大事だと思う。

2

を選んで

参加者-2：今、大学生で、初めて参加した。来週、越谷市の技術職の試験を受ける予定で頑張らないといけない。越谷は川がとても魅力的で、他市にはないと思う。また市街化区域と市街化調整区域、農用地も分離している。ハウードの田園都市にあるように、越谷はすごく良い場所で、川を使ったサイクリングなど、観光資源を使ってくことで越谷は伸びると思うし、それは僕たちのような若い人がやらないといけないことだと、話を聞いていて思った。

4

を選んで

参加者-3：産業振興、観光について、市外に働きに出ている身としては具体的な内容は知らないということ。市民から意見を聞くだけでなく、市として、どこに一番力を入れているのかを教えてもらわないと、キャッチボールにならないと思う。

越谷市から

第4次総合振興計画の産業と観光の分野では、「こしがや魅力発信プロジェクト」を重点施策としている。

テーブルに置いてあるガイドブックを見て頂きたいが、農業分野では地産地消、人材育成等。観光の分野ではサイクルカフェ、サイクリング、田んぼアート、阿波踊り、越谷の愛されグルメ等がある。産業分野では越谷の名産の古いものも今時のようにおしゃれに、市内の産業の方がやっているのを市としても支援している。

参考
資料

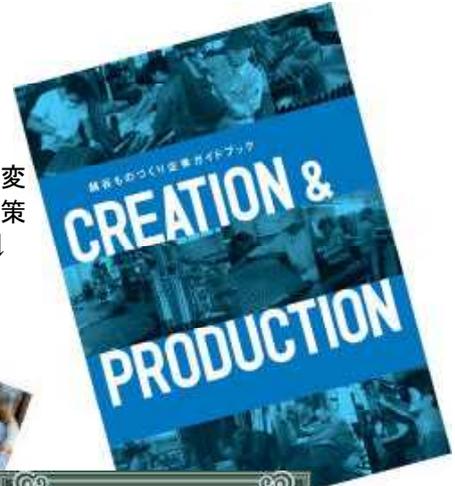
『こしがや観光ガイドブック
2019』

こしがや観光ガイドブックでは、水辺や歴史、催し、グルメなど、テーマごとに越谷の魅力を紹介。↓



越谷ものづくり企業ガイドブック
『CREATION & PRODUCTION』

優れた技術や製品を有する、市内ものづくり企業の情報を広く紹介。↓



『越谷市の農業』

越谷市における農業の変遷や特産物、農業振興施策についての概要を掲載。↓



『越谷市の農産物』

越谷を代表する農産物として、くわい、越谷ねぎ、山東菜、いちご、太郎兵衛もち、小松菜、チューリップを掲載。



5

を選んで

参加者－4：一昨日、孫の熱が40℃から3日間、下がらなかったで市民病院に救急車で行った。薬も飲めない状態なのに、医者から「薬をもらっているなら、それを飲ませれば良い」「先生から明日来いと言われているならそうしなさい」と言われた。こんな古い体質があるのか、ということを経今日はぼやきに来たのが一つ。

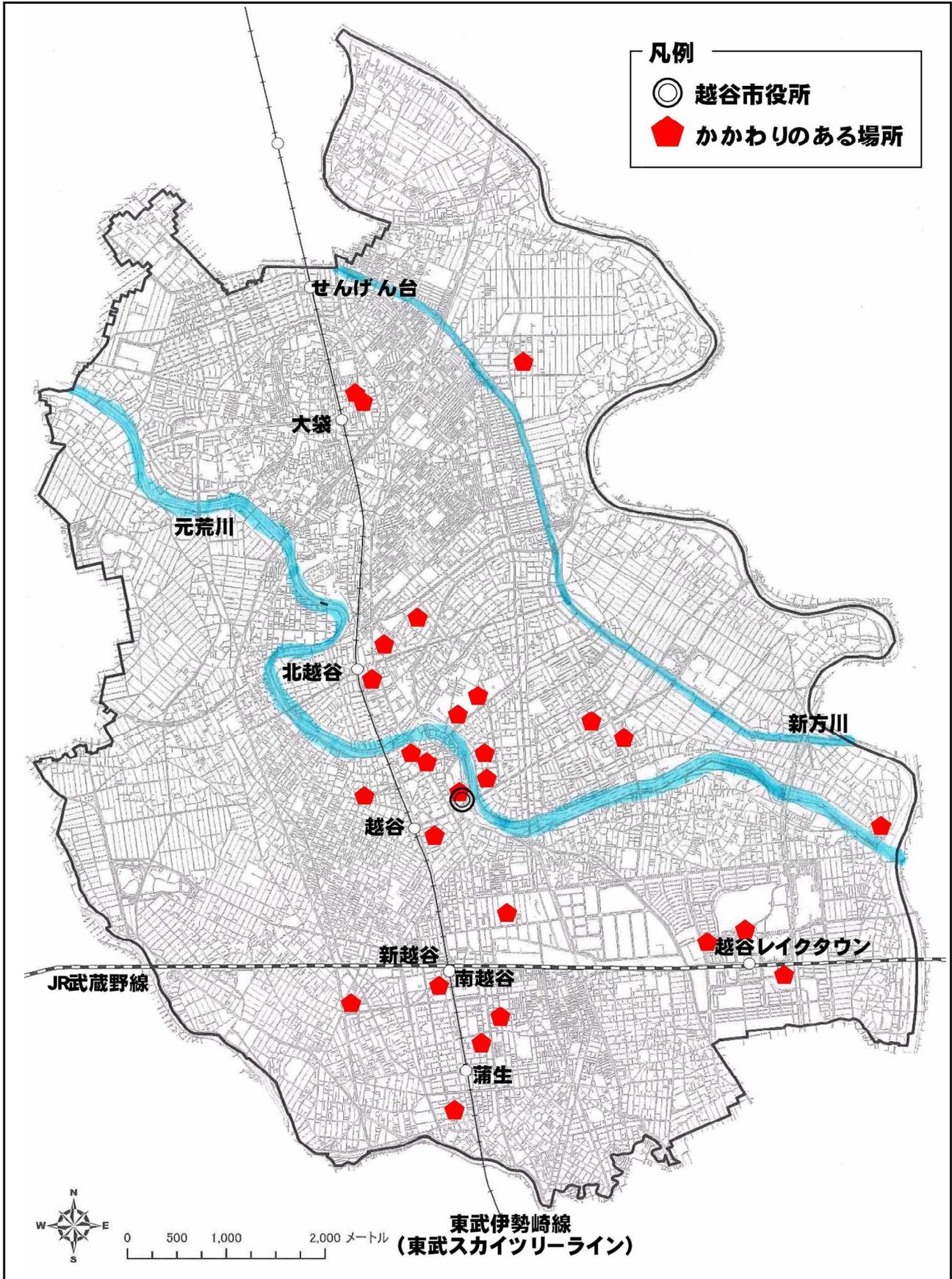
もう一つは、今日で懇談会が5回目となるが、我々は忙しいところ出てきている。例えば、出席している人をまちづくりアドバイザーとするなどして、これからも集まり、話し合いを継続していくことを提案したい。

越谷市から

いろいろなテーマについて、世代や地域を越えて、いろいろな方が集まって意見交換する場は非常に大事だと思うので、続けられれば一番良いと思う。やり方は皆さんで話し合いをお願いしたい。

自己紹介『…だったらいいネ！』

地図に自分にかかわりのある場所（お住まい等）をシールで貼った後、『産業振興、観光』分野について、『将来の越谷市が…だったらいいネ！』を書いて、グループで自己紹介していただきました。



越谷の
魅力を発信

- 今あるもの、自然、建物、河（川）、農地、公園を市民や外部から利用できる、活性化されたものにしてほしい。観光も、外部から来ることも大切ですが、市民が楽しめる、集える街づくりも忘れないでほしい。子ども達や若い人達が集い、楽しめる観光地を進めてほしい。市内にある工業、会社のアピールをして、認知（まず市民が知る）させる。
- いちごタウンとしての知名度をもっとあげられるような、いろんな世代や層（ファミリー等）に向けたイベントを企画・運営して、市民以外の方が越谷に足を運びたくなる街。そして遊びに来た人、イベントに参加しに来た人が、イベント以外のときにもまた来たい!! 将来住みたい!! と思ってくれるような街。越谷市民自身が越谷の魅力を語ったり発信する街。観光都市として名を上げて、緑やきれいな川など自然破壊はせず、自然を活かした都市開発の仕方ができる街。
- 越谷、南越谷を中心に、ビジネス街として産業振興を推進し、企業関連団体を受け入れること。越谷の良さを活かし、あるものを観光資源や地域資源として活用すること。行政と市民が一体となり、株式会社越谷市。
- 日本中、どこに行っても「越谷って良い所だね!」と言われる街にしたい。たくさん魅力があるので、それをいかに発信していくか。レイク、はかりや、神社、寺、お祭り。
- 美しい街並に若者が、此処に住みたいと思うような街づくりをし、緑豊かな中で子ども達が育つような越谷市になったら良いかと思えます。経済の発展、福祉の充実、高齢者や身体障がい者にもやさしい、全国にその内容を発信できる街になりたい。
- レイクタウン来訪の5,500万人が、市内にも立ち寄ってもらえるような魅力満点の街。外国人も注目するような花田苑の活用。文化歴史の街が全国に知られる街。日本三大阿波踊りが市内全域から注目、参加される祭りになること。TOKYO2020を機に外国人に注目される街。

○子ども、親、おじいちゃん、おばあちゃんが皆で遊べる、楽しめるまち。越谷って楽しいよ!おいしいものあるよ!と自慢することができるまち。

新しい
魅力づくり

- 1. 歴史（郷土）資料館を御殿跡に設けるとともに、宿場通りの一方通行と電柱地中化。
- 2. コンベンション等の大型ホールを併設した一流ホテルの誘致による観光産業化。
- 3. 市民の期待に応える発展。安全。越谷の一流は?伝統工芸もなくなる?農業は減る!市民まつりの参加者は減る。人口40万人。若い市長!?花火大会、阿波踊りがなくなる!?
- 将来の越谷市が3つ星のミシュランのたくさんあるグルメ街があったらいいネ。
- 越谷にアリーナができると良いと思います。ちょうどBリーグのプロバスケットチーム越谷アルファーズができ、今年度からB2に上がりました。そのホームアリーナであり、収益を得られるアリーナ。展示会やビジネス交流会、コンサート、市民活動にも使え、国際大会誘致などの観光推進にも良いと思います。
- レイクタウン以外の、川を使ったまちづくり。蔵屋敷とかを使った観光のまちづくり。ワンデーの観光パックを使ったまちづくり。レイクタウンの湖を使ったイルミネーションとか、水辺のアトラクションづくり。住む場所はいい場所、立地があるから、他市や他県から人をもってくる必要がある。
- ①大人も子どもも、いつでもどこへでも市内、自由に行けるようになって良い。
- ②観光客が多過ぎても越谷らしさが無くなるので、市の財政が潤う位の観光客が増えて、市民が誰でも案内出来て、誇りに思えると良い。
- ③新しい観光産業を生み出し、それを市民が守れるようになると良い。
- ④水車の町越谷にしたい。
- 川の片側でもサイクリング道路やランニング道路が整備され、川から川へと安全にサイクリング、ランニングが楽しめる街になって欲しい。又、その川岸ではBBQが楽しめるような場所も所々にあり、市内の人が気軽に楽しめる場所を増やして欲しい。

様々なものと
連携していく

- 観光のイベントは単発でつながりが無いと思う。場所的つながりや時間的つながりを作っていけたら良いと思う。平凡な市と感じている。特色のある産業や商品、イベントを展開できれば良いと思う。越谷都民が増える中、職住接近が実現できれば良いと思う。
- 友好都市、ムラの観光地と提携。金を生み出せる観光。地元商店街、農業、企業、産業との取組。AIを活用。
- ①市民会議は有益と思います。なお、議会事務局で学生の模擬議会を行っていると言いますが、この若い人達の意見を聞くのも一考かと存じます。②朝日新聞に、メロンについて富士通とのタイアップとの記事がありました。インターネットの時代、その他の事業についてもタイアップしたらと思います。
- WLBの満足度up（ワークライフバランス；仕事と生活の両立）。産業、生産性；10年で2割up→IT化、ムダ・ムリ・ムラの排除。10年で1割down。就労、時間短縮・自由度up→残業・休日出勤削減。サテライトオフィス。生活の地産地消の地域サービスup。地域ボランティア活動。時間10h/月。
- ワークライフバランス：仕事と家庭の両立。おいしい特産品の発展。地産地消を活用し、農業などの発展。

ワークライフ
バランスが大切

越谷の
まちづくり

- イオンレイクタウンへ年間5千万人（延べ）が来ると言うが、純粋に「観光」で来る人のニーズを如何に把握しているか？ショッピングセンターに買い物に来る以外に、越谷に何を見に、食べようとして来ているのか？農業人口はわずかに1,174人と統計に出ている。産業振興という面で、「緑を守る」や「自然を守る」という別のスローガンと、どう両立していこうとしているのか。農業人口が少ないが、「道の駅」を作るという計画があると聞く。生産と販売政策を分けて考えてすすめるべきと思う。農業への新規就農者を育成、担い手の確保を図ると書いてあるが、減っているのが現状である。効果がないのだと思う。→これではやっこにすることにならない。
- 1. サンシティ跡地が市の中心地区として、観光・産業の中心になっている。
2. レイクタウンの観光客5,000万人に惑わされない、真の観光人数（リターンを含め）獲得を目指す。
3. 上場農業の育成とイチゴ農園等の拡張を進める。
- 県東部地区の中心。すべての分野で。

ワークショップの様子



10年後の越谷『5つの夢プロジェクト』を考えよう！

『産業振興、観光』に関連した『越谷のここが問題』をポストイットに書き出した後、問題点を解決するような『5つの夢プロジェクト』をグループで話し合っていて考えていただきました。

1 グループ

1. 水郷こしがやのイメージを観光化（遊覧船、船着き場、桜、体験）
2. 人材活用（年配の方、若手、外国人全員で協力）
3. 地元商店街、産業の活性化、持続、産業フェスタのような行事を年に何回もやる
4. サンシティ跡地（予定）の再開発（例：スポーツ劇場、コンサート、ビジネス交流）
5. 今ある魅力を各地、世界へPR

（具体的なご意見）

- ・市内へのアピール、市外へのアピール。
- ・観光資源がたくさんあるのに知らない人が多い。
- ・多くの市民が市への関心が薄い。
- ・越谷の良いところを皆、知らない（食べ物、見どころ、イベント…）。
- ・お店や観光スポットに来てても、リピーターにならない。
- ・レイクタウン周辺だけが人口が増えている。
- ・越谷=〇〇という分かりやすいイメージがない。
- ・法の改正。施設の再利用。
- ・中途半端な政策、一点集中。
- ・便利、裕福→手抜き、ずさんさを生む。満足できなくなる。
- ・国の目標のように、文章の中に具体的な数字を目標値として入れる。

- ①
 - ・河川の活用。自然環境の見直し。宝を探し出そう。
 - ・元荒川の桜並木を維持する。
 - ・”水の郷”のイメージを観光化する。遊覧船、船着き場造成等。
- ②
 - ・後継者の確保。
 - ・働き手減少。
 - ・学生の活用、外国人の受け入れ。
- ③
 - ・地元商店街活性化。
 - ・農業育成、企業産業を集める。
- ④
 - ・サンシティ跡地を産業（文化も）の中心地と位置づける。
 - ・スポーツ産業推進。
 - ・アリーナ建設。
- ⑤
 - ・観光の発信不足。
 - ・各地へPR。

<1グループの発表から>

いろんな観光資源や越谷の魅力がたくさんあるにも関わらず、知らない人が非常に多いということが、まず一番多い意見として挙がった。

1. 他から来てもらった人たちにお金を落としていただくため、遊覧船や船着き場をつくり、船も含めて宣伝し、水郷越谷のイメージを観光化したい。
2. 今後、働き手が減っていくので人材を活用する。年配の方の知恵や経験を教えていただき、若手が中心となって、外国人も含めて全員で協力して市のことをやっていく。
3. 商店街や地元の中小企業をPRする。現在、年1回行われている産業フェスタを、規模を小さくしても良いので2ヶ月に1回程度で継続していく。それによっていろんな業種の連携が生まれることもあると思う。
4. 市民の憩いの場を維持しつつ、収益性も上げる。アリーナをつくり、越谷アルファーズの試合やコンサート、ビジネス交流等、新しい産業とスポーツ産業を進めていく。そういう場ができれば、より越谷が発展していくのではないかと。
5. これらを踏まえ、今ある魅力をできるだけ他の市町村や世界に発信していくということがより観光業の発展としては良いと思う。



1. 株式会社こしがや～財源確保～ 公営施設の誘致
2. Lake & peace 2020に向けて Green Tourism Koshigaya
～レイクタウン来訪者を市内へ誘導する～ 観光バス、循環バス
3. THE花田苑～夜桜見物～ 屋台で酒宴、いっそのことダボス会議！
4. 越谷市の五川観光から水辺の活用、ボート、船の必要～ 災害時に有効
5. 寺院と蔵の進化 もっと世の中にアピールする。新しい活用方法の提案。

(具体的なご意見)

- ・レイクタウンなど車、バイクの音量の酷いものの対策！
- ・浸水被害からまちを守る。
- ・市立越ヶ谷高等学校、小中高一貫。
- ・大企業の誘致。
- ・阿波踊りに市をあげて取り組む。
- ・越谷のいちごは買うのが楽ではなく、誰でも購入できるように。

- ・花田苑に泊まろう。
- ・花田苑でダボス会議をやろう。
- ・花田苑を活用する→外国人向け。
- ・越谷の魅力を発信！花田苑、能楽堂。

- ・蔵屋敷などの歴史を活用。
- ・たくさんある蔵の活用。
- ・日光街道の活性化。
- ・無電柱化。
- ・道路、歩道のゴミ、犬のフンを減らす活動。

- ・TOKYO2020を機に、外国人をたくさん呼べるイベント開催。
- ・若い人とお年寄りとの交流。
- ・福祉（老人、身がい者）全国トップな程の充実！

- ・1泊2日の宿泊ツアーができる観光ツアー作り。
- ・ホテル、宿泊施設。
- ・新越谷、南越谷をビジネス街として、越谷スーパーアリーナを。
- ・無料バスの推進（免許返納）。
- ・寺院名所を巡るバス。
- ・駅周辺のにぎわい。商店街のにぎわい。
- ・空港。
- ・便利な立地を活かし、若者に住んでもらえるよう住宅（リノベーションも含む）を整える。
- ・競馬場、ボートレース→公営施設。

- ・川を有効活用。
- ・誇れるような立派な公園がほしい（大きな！）。
- ・川のまちを活かした船や移動手段。
- ・運動できる公園の整備。
- ・街路樹を増やしてほしい。陰陽をつくり、涼しい街に！
- ・水辺のまちづくり。
- ・緑を多く、ハデなカンバンなどを規制してほしい。
- ・農道のなごりが多く、道が整備されていない！



<2グループの発表から>

1. 何をやるにもまず、財源を確保しなくてはいけない。公営ギャンブル等、大きなお金が動かせる、財源が確保できる公営施設の誘致をまず1つ目に考えた。
2. 先日、レイクタウンの畔でLake & peace 2019を行い非常に好評を得た。レイクタウンのお客を市内に誘導するためのイベントを活性化させ、市内を循環するバス等を増やしたい。
3. 花田苑を知らない方が多い。埼玉県で唯一、野外能楽堂を持つ歴史的な施設である花田苑をもっと有効活用したい。夜桜見物や屋台等、今できないことにもトライして成功事例を作り、もっと花田苑を市内外の人々、外国人の人々に知らしめたい。
4. 五つの一級河川の観光化が統一的にはできていない。船を使った観光をすれば、大きな災害があった時に避難手段としても利用できるのではないかな。
5. 蔵を活用しているはかり屋さん前の旧日光街道は車通りが激しい。一方通行化を提案しているがなかなか実現できないが蔵の活用を進めていけば、行政も対応してくれるのではないかな。

3 グループ

1. 川の活用 花嫁船、ボート部、水車、三つ星★レストラン、桜
2. 発信上手になろう
3. 観光資源のブラッシュアップ
4. (仮)コシガヤバレー（谷）の創成
5. ガーヤちゃんバスで観光地めぐり

(具体的なご意見)

- ・大人も子どもも、市内をいつまでも、どこまでも行けるように交通網がほしい。
- ・市民誰もが、どこでも案内出来るように知ってもらおう。
- ・新しい観光の目玉を作り、観光客の拡大につとめる。
- ・市民が魅力を理解するのが第一歩。
- ・越谷をアピールする方法を考える。現在は市民も知らない所が多い。
- ・アピール不足。
- ・発信上手!!になろう。
- ・マスコミをもっと利用する。テレビ、映画のロケ地の宣伝。
- ・点と線をコーディネートする部門。
- ・越谷のNO. 1、ONRY1を特集する。
- ・観光資源を活かしきれていない（ポテンシャルはある）。
- ・魅力を更にブラッシュアップ。
- ・観光入込客。レイクタウン頼み、それでいいのか？
- ・そもそも越谷に「観光」が必要なのかどうか？
- ・混在の街。今昔、老若、農と工、自然と交通。
- ・サポート体制強化。行政、市民。
- ・水郷を活かして花嫁舟を観光化してはどうか。
- ・レイクタウンでオートボート（競艇）とか、開催してはどうか。
- ・水車の町、越谷にしたい。
- ・川を観光化、公園にする。
- ・川を活用していない。
- ・親水公園（川を観光化）
- ・富士通とのタイアップ。
- ・大企業の誘致。
- ・プロスポーツ招聘。
- ・道の駅と観光。
- ・一流ホテルがない。ホテル数を増やす。

<3グループの発表から>

1. 川の周りの緑や親水公園も含めて、川を活用することによる観光を進めようと考えた。以前、花嫁を乗せた船が通ったことがあったと聞いた。全国大会にも出ているボート部の練習や、水車をいろんな所につくる、三つ星レストランを持って来る等。
2. 市役所からもいろんな発信がされているが、探し方が悪く見つけられなかったり、興味がないものはスルーされたりする。自分の近くや行きやすい場所だけでなく、遠い場所の情報についても私たち自身が発信上手になると同時に、発信をきちんと受け取れるようになる。
3. 越谷市には何もないと言うが、古いものから新しいもの、産業を含めると結構楽しいぞ、結構あるじゃんと思う。これらをブラッシュアップし、もっと輝かせることによって越谷にもこれがあると、もっと自慢できるものになっていくと思う。
4. 今、富士通とIoTを活用したメロン水耕栽培の研究が始まったと聞いた。やはりお金が必要なので、大企業が来て、雇用があつて町が潤うということが必要だと思う。
5. 外に何かを発信したいが、実は越谷に何があつて、どんなに良いことがあるかを越谷の市民自体が分かっていないのではないかと考えた。ガーヤちゃんバスで観光地を巡るコースをつくったり、既にあるリユースのバスをどんどん活用して、越谷市民が観光についてもっと上手になる、自分自身から「こんなに魅力があるよ」と言えるようになりたいと思う。個人的には、越谷が5年後、日本中どこに行っても「越谷に住んでいます」と言った時に、「あ、良い所に住んでいるよね」と言われたいと思っている。



4 グループ

1. 地元祭りを世界に発信!!
2. オーガニックに特化した地産地消
3. 水辺のサイクリングロード
4. WLB 10年で生産性2割up、労働時間1割down
5. ボランティアで躍動するまちづくり (私は) 月10時間地域活動

(具体的なご意見)

観光

- ・(コミュニティ)地元のまつりの発展。
- ・文化の伝承(越ヶ谷秋まつり)
- ・秋の大祭を観光として盛り上げる。
- ・北部を知っている人が少ない。
- ・蔵の活用。
- ・遺跡を大切にしていない(新しく見つかった)。
- ・個性的な飲食店をもっとPRして欲しい。
- ・街単位のスポットを偏りなく発信していない。

川

- ・川のサイクリング、ジョギングロードの整備が弱い。
- ・川岸BBQ場がない。川が多いのに。
- ・水郷越谷の復興。川の水をきれいに!

農業

- ・地産地消の推進。
- ・若い人への農業の促進。
- ・人を大切にする。育てる。
- ・くわいの全国展開。

就労

安心して働ける

就労(時間、場所)の自由度up

駅前のサテライトオフィス
託児施設併設

10年で総労働時間1割削減。

生産性

- ・産業振興: 生産性10年で2割up

IT化。ムダ、ムリ、ムラの削除
職員のPCはワイド画面
議会はペーパーレス

行政窓口の待ち時間半減

- ・躍動するまちづくり

WLBで時間創出
10年後、ボランティア10時間/月

活動メンバーの公認
自治会、PTAのサポート
市職員のサポーター

換算 職員リソース(総労働時間)
10年で1割down

<4グループの発表から>

1. 地元の良さが分かっていない、発信できていない。バズる(ネット上で急に話題になり、注目を集めている状態)ことを目掛けて、地元祭りを世界に発信していきたい。
2. 地元の食材、特に農協産品、オーガニックに特化した地産地消という風なものをもっとPR、柱にしていったらどうかと思う。
3. 川辺をサイクリングロードにして、市を周遊できるような形にする。併せて川もきれいにし、将来的にはカヌーやカヤック等の使い方をもっと進めていきたい。
4. 産業をどうやるかということよりも我々がどう変わるか。今、ワークライフバランスという言葉がある。10年間で生産性を2割アップする目標を掲げ、労働時間を1割下げてサービスを1割上げる。
5. 労働時間を1割下げると、年間2,000時間のうちの1割、200時間が生まれる。私はそのうちの半分の100時間をボランティアに当てたらどうかとっていて、10年後には月10時間を地域活動に当てたいと考えている。目標の数値を掲げて10年後に向けて、具体的な活動はそれぞれみんなで行っていけば良いと思う。



5 グループ

1. 市の枠にとらわれず皆でつくる街
2. 新規就農者が集まる街
3. 伝統工芸の後継者を育成できる街
4. 新しい産業も誘致できる街
5. 子どもや孫も住まわせたいと思える街

(具体的なご意見)

- ・祭りに若者が参加しない。
- ・若手市民活動の人達との具体的な会話の時間をとる。
- ・若手プロジェクトチームをつくる（市役所5名、市民5名の10名）。
- ・官民の連携が取れていない…と感じます。
- ・対外地域の人達が活躍できる街。
- ・また来たい!!と思えるほどの特長や場所がない。
- ・施策は少しずつ頑張っている気はするが、発信力がない。
- ・プロジェクト等（市政塾、まち塾など）は実施されていても、街づくりに活かされていない。
- ・若手の農業をする人達のあつまる町。
- ・市内に「道の駅」を作るという。農産物の増産よりも、大規模な販売政策に舵をきるべきと思う。仕入れは市外からに切り替えればよい。
- ・農業人口は減っている（最新は1,174人）。新規就農者を育成、確保しているというが減っている。やり方が間違っているのではないか？
- ・越谷レイクタウンに来る人が年間5千万人以上というが、買い物以外の目的の人（観光）の数を分析、把握しているか？逆に言えば何を見に、食べに越谷へ来ているのか。分析が必要である。
- ・レイクタウンに頼らずに観光客を誘致する。
- ・レイクタウン以外を目的地として越谷市に来る人が少なすぎる。
- ・伝統産業（だるま、人形など）はこれからも大切にすべきであるが、新しい産業（IT産業他）も誘致すべきである（昼間、都心へ出ている人の中には優秀な人達がいる）。
- ・1万人を雇用出来る製造会社を誘致できたら。

<5グループの発表から>

1. 今まででは越谷の人は井の中の蛙だったが、もっと外の人たちを呼んで来て、みんなでやることを意識的にする。
2. 越谷の最大の財産は土地、何も無い土地がまだまだある。例えば大きな就農地域をつくり、いろんな方に無料で勉強してもらおう。そういう土地を提供できるまちを挙げた。
3. 越谷の伝統工芸は「だるま」「ひな人形」「甲冑」「金細工」の4つ。他に「籠染灯籠」もある。経済産業省が認定するThe Wonder 500（日本が誇るべき全国の地方産品を発掘し、世界に向けてPR・マーケティングを支援する地方発クールジャパンプロジェクト）に、越谷からは「籠染灯籠」と「江戸木目込み人形」が入っている。市職員や市民もほとんど知らないの、最低限、教えてほしい。
4. 出羽や荻島地区は何もない土地があるので、大きいものを誘致できるのではないかと。
5. まちづくりには10年や20年、軽く掛かる。小中学生ぐらいの子どもたちが、「すごく良いよ、俺たちのまち」と言えるようなことを30年かけてつくっていくような気持ちが必要だと思う。最後に、市役所の若手5人と市民の若手5人、具体的には39歳までの人たちが10人集まって、市長、副市長直轄のプロジェクトチームの部署をつくり、部長達はそれをバックアップすることを提案したい。今年できなくても来年、また言っていきたいと思っている。



6 グループ

1. PR不足、認知不足を解消～1人1人の発信力を促進～
2. 来てもらえる場所、イベントを作ろう<こしがや村>
～歴史資料館、にぎやかな商店街、歴史村、ホテル
3. 意見交換の場作り（おしゃべりの場）サロン、サイト
特に若い人が集まれる所。女性・子どもの支援
4. 官民協働の上記施策について、市は支援すると言う／得意の企業、団体に委託

（具体的なご意見）

- ・情報の発信力が無い。
 - ・鴨場のPR。
 - ・市の会社名が知られていない。
 - ・市内の工業、会社、企業を発信、認知させていない。
 - ・農作物の販売ルートの開拓。
 - ・全体的にPR不足。
 - ・特色ある企業との連携がとれていない。
- ・公園が利用されていない。
 - ・TV、映画の撮影の誘致。
 - ・若い市長の出現→女性？行政以外から！
 - ・新市役所周辺の観光化。
 - ・企業誘致の施策が見えない。
 - ・50万都市になる→農業がなくなる。産業化への対応、一流企業の進出。
 - ・祭り、イベントが単発で続かない。

- ・小さなイベントも発信してほしい。
- ・花火大会、阿波踊りがなくなる。
- ・イベントの場所的つながりが無い。
- ・イベントの時間的つながりが無い。
- ・歴史郷土資料館がない→御殿跡に設ける。
- ・商店街がどんどん縮小している。
- ・越谷のここが楽しい、ここへ行こうと案内しようという場所が無い。
- ・一流ホテルの進出→コンベンション大型ホール。
- ・市民も楽しめる観光地が無い。
- ・目玉商品が無い。
- ・子ども達（小学生以上）が活躍できる場づくり。
- ・子ども（小学生以上）が集える、若い人が集える居場所の常設が無い。
- ・（新しいモノを生み出す為の）人が集まる場が少ない。
- ・街づくりを市民ぐるみで意見交換せず、計画から進んでいる。

<6グループの発表から>

5グループの発表であった、市役所に若手の部門をつくることについて、それができると良いと思った。プロジェクトの4つ目は蛇足なので、実質的には3つ出した。

1. 越谷にはいろいろPRできるものはあるがそのPRが不足している、発信力がないので、それを強化したい。広報こしがやは所詮、越谷市内だし、テレビ埼玉の視聴率も限られている。今は1人1人がスマホを持っているし、持っていないならスマホを配っても良い。スマホに越谷市のアプリをダウンロードしてもらい、越谷市内の良い所を発信してもらおう。発信された側のレストランや店も、「うちはこんなのがありますよ」とPRができるのではないかな。大きなメディアを使わなくても今は個人で十分に世界に発信できる時代だから、そういうことを促進していく。
2. PRできる何かをつくる。歴史資料館やホテルをつくり、商店街をもっと活性化する。
3. 越谷市の何が良いのかを議論する場が欲しい。物理的な場所でも、仮想的なサイトでも良い。越谷市の次の目玉になる商品、あるいはイベント、そういったものを何にするかを議論する場をつくる。そういう場があって、何かものができて、できたものをみんなで発信するというような3段階で考えている。
4. これは市だけでもできない、民間だけでもできないかもしれないので、官民協働で行くとするならば、越谷市にはそれらを支援すると言ってもらいたい。



「感想カード」

今日、参加して感じたことなど、自由に感想カードに記入していただきました

勉強になった

- グループや参加者の中にそれぞれ知識、経験を持つ方がおられるので、参考になります。勉強させて頂いています。
- 色々の意見。
- 色々な方と考え方、見方の違いを聞いてよかった。
- 大変勉強になりました。
- 初めての参加だったが、越谷市のことを改めて分かってよかったです。観光というテーマではじめ、越谷市の文化資産や川や橋などの土木の魅力はまだまだあることが分かりました。若い人の活用が大切であることが改めて分かり、若い人と高齢の方との交流が、これからは大切なのかなと思いました。

若い人の参加の機会を

- 毎度の事ですが、多くの方々の多様な意見が聞いて良かったです。残念なのは、若い方の参加者が少ない事です。お金をかけずに産業を活性化させたいと思います。それを議論する場をもっと提供していくべきと思います。
- 今まで様々な懇談会等に参加してきましたが、参加者がほぼ同じかなと。出来れば高校生や大学生など、若者が参加した会や議員さんなども参加してほしいですね。
- たくさんの方々とお話できて良かったです。市長直轄の若手プロジェクトチームはぜひやって頂きたいと思います。素晴らしい案が出ておりましたので、マスタープランに反映して頂けると嬉しいです。



今後に期待したい

- 2回目から参加し、4回目になります。同様のプログラムを繰り返し「夢プロジェクト」の問題解決度が高まってきたと思います。次回、テーマについて重点施策、市民意見を聞きたい課題の説明を期待しています。
- 今回で2回目。若い方の意見が聞いて参考になりました。顔見知りの方も何人かいて話しやすかった。6つのグループで同じ様な意見が揃いました。皆さんが考えている事が同じなのだという事もわかりました。市の職員の方が紹介されて参加するのも良いものだと思います。これらの提言が実現され、プロジェクトが立ち上がるのを望みます。
- 市職員さんのご努力が市民に良く伝わってない部分も多く、まだまだ発展途上であると思いますので、市民の声を沢山とり入れて、理想に近い街づくりをしてほしいのです。今日はとても詳しく計画について説明していただけたと存じます。
- 私は「こしがや都市未来創造塾」で3期に渡ってたずさわって来ましたので、越谷の産業や観光については思いが強いです。皆さんの意見はかなり参考になりましたので、今後に活かして行きたいですね。
- 本日はこれまでに一度も一緒したことのないメンバーのグループになり、また新たなアイデアや知らなかった越谷の魅力を知ることができ、いつもながらワクワクとしたとても楽しい時間を過ごすことができました。他のグループのアイデアを共有する発表の時間では、自分の中にありながらもまとまっていなかった考えを発信して下さる方がいたり、思いもつかない素晴らしい技術やアイデアをお持ちの方がいて、今後の越谷がとても楽しみにになりました!!

提案

- 私はどんなテーマであっても地元歴史郷土資料館と御殿跡の活用が観光化の最大課題であり、人口50万人への自然増にどう対応できるか？又、隣接地区との統合が望まれ、中核都市へのグレードアップに期待。水郷こしがや：1. 市役所前の火災用水路（湖）の年中満水化。2. レイクタウン調整池の清水化。
- 良い店や良い仕事が点に終わっている。線にし、面にして欲しい。なんでもやる課的なソシキが必要？
- 次回（9/28）までにこれまでの5回分の意見要約をとりまとめて配布してほしい。意見の吸い上げだけで終わらず、フィードバックをスピーディーにやって欲しい。私は最終回に都合のため、出席できないので、懇談会の参加者に対するFOLLOWを確実にやっていただきたいと思います。
- 法律、条例に忠実すぎて、保守的な姿勢が市職員の活動に見える（コンプライアンス意識が強すぎて）。もっとアグレッシブに挑戦してほしい。観光発信力不足のグループ討議意見が多かった。
- 皆さんのお話を伺い、産業振興・観光においては、地域の魅力をより発信していくことや、必ず英語の説明もつけて「いつかバズる」のを目指して行って欲しいと思いました。1人1人の発信を増やす企画と、市としての発信を、担当者がやりたくなる様な企画を市にはお願いしたいです。
- 回数を追うごとに話がとても建設的になっている様な気がします。大変だろうが、各地区でこのような取り組みを自治会などと連携をとってすすめていくべきだ。
- ①「何も無い」と言う人が一定数いるが、越谷にはたくさん魅力がある。レイクはもちろん、はかりや、神社、お祭り。まず市民の意識改革が必要ですね。②5回のうち4回の参加ですが、毎回の様に参加している方の変化、成長が見られないのが残念です。いつもと同じでない方法も良いかもしれません。上手に発表をまとめようとするプレッシャーが有り、自由な意見がうもれてしまうかも？

若手職員の感想

- 越谷のことについて熱心に考えていらっしゃる市民の方が多くいることに感銘を受け、市の職員として非常に良い刺激を受けることができた。いただいた多くの意見を今後の業務の中で計画に活かしていけるように取り組みたい。
- 幅広い年代の方々と産業・観光の「5つの夢プロジェクト」を検討する貴重な時間となりました。また、グループの方々と話していくうちに、こしがやの想いが伝わり、今後の業務にいかしていきたいと思います。
- 産業振興や観光について、多くの考えや夢を出して頂きました。越谷のイメージ作り、観光資源の活用、魅力発信、産業集積や後継者問題は共通の課題として認識されていることがわかりました。これから10年、さらにそれ以上先の越谷をつくっていくのにあたって、課題をクリアできるよう頑張りたいと思います。
- 市民の方と一緒に越谷市について考える機会は初めてのことであったので、とても貴重な経験となりました。様々な視点からいただいた越谷をより良くしたいという考えを、今後の業務に活かしていきたいと思います。